

## 令和2年度事業計画（音楽事業）

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

### 公益目的事業3（顕彰事業）

#### 1. 「第51回サントリー音楽賞」「第19回佐治敬三賞」（2019年度）の贈賞

令和2年2月12日（水）（佐治敬三賞）・2月27日（木）（音楽賞）選考会で選定、  
3月24日（火）理事会にて決定後、日程調整し、贈賞式を開催する。

#### 2. 「第52回サントリー音楽賞」の選定、贈賞

- ア. 対象 令和2年1月1日から12月31日までの1年間に、わが国の洋楽の発展に最も  
顕著な功績のあった個人または団体
- イ. 賞 賞状、賞金（700万円）
- ウ. 選考 令和3年1月上旬 候補者選考会  
令和3年3月中旬 受賞者選考会
- エ. 贈賞 受賞者決定後に調整のうえ贈賞式を（令和3年度に）開催

#### 3. 「第20回佐治敬三賞」の選定、贈賞

- ア. 対象 令和2年1月1日から12月31日までの1年間に行われる音楽公演で  
チャレンジ精神に満ちた企画でありかつ演奏成果の優れたもの
- イ. 賞 賞状、賞金（200万円）
- ウ. 公募 令和2年上期実施公演：令和元年9～10月に応募を受付済み  
同 下期実施公演：令和2年3～4月に応募受付
- エ. 選考 応募公演について公演視察を実施  
令和3年2月 選考会
- オ. 贈賞 スケジュール調整のうえ音楽賞と同時に令和3年度開催

#### 4. 「第21回佐治敬三賞の募集・選考」

- ア. 対象 令和3年1月1日から12月31日までの1年間に行われる音楽公演で  
チャレンジ精神に満ちた企画でありかつ演奏成果の優れたもの
- イ. 賞 賞状、賞金（200万円）
- ウ. 公募 令和3年上期実施公演：令和2年9～10月に応募を受付  
（同下期実施公演：令和3年3～4月に応募受付
- エ. 選考 応募公演について事前選考を行い、推薦する候補公演を発表し、チケット  
プレゼントを助成事業として行なう

事前選考 上期公演 令和2年11月  
(下期公演 令和3年4月)

#### 4. 第30回「芥川也寸志サントリー作曲賞」の選考、決定、贈賞

財団50周年を機に昨年からは、芥川也寸志氏にちなんだ賞であること、サントリー芸術財団の将来にわたるコミットメントをより明確にするため賞名を変更し、作曲家への支援を強化するために賞金を150万円に増額した。

本年度は2019年に初演された新進作曲家の管弦楽作品の中で最も清新かつ豊かな将来性を内包する作品を選定する。最終選考は公開の場で行う。

##### ア. 第1次選考会

令和2年3月5日(木)に開催し、第30回芥川也寸志サントリー作曲賞の選考対象となる日本人作曲家の交響管弦楽曲(2019年1月から12月の間に国内外で初演)候補作品について譜面および録音による選考を行い、候補作品数曲を選出する。

##### イ. 第30回「芥川也寸志サントリー作曲賞」選考演奏会

8月29日(土) 15:00～、サントリーホール大ホール

サマーフェスティバルの一環として開催。第28回受賞記念委嘱の坂田直樹氏作品を初演したのち、候補作品を演奏し、演奏終了後、3人の選考委員が公開による選考を行って1曲を選定し、第30回「芥川也寸志サントリー作曲賞」(150万円)を贈賞する。選考会司会は長木誠司氏。なお、受賞作曲家には新作を委嘱(委嘱料100万円)し、完成後、当財団主催の演奏会で初演する。

#### 公益目的事業4 (助成事業)

##### 1. 佐治敬三賞推薦コンサート活動

今年度からは対象公演を変更し、第20回佐治敬三賞(令和2年1～12月開催公演)に応募されたチャレンジングな公演を対象とする、佐治敬三賞推薦コンサートとして、選定する。推薦されたコンサートは、ホームページ、新聞などで告知し、抽選で招待する。年間10公演程度を推薦する。

##### 2. 「第7回サントリー芸術財団名器特別賞」として楽器を貸与

世界的文化遺産である弦楽器名器を保全し次世代に継承するとともに、若手音楽家の育成、クラシック音楽の発展に貢献することを目的に、第7回「サントリー芸術財団名器特別賞」受賞者を選定する。

「第74回全日本学生音楽コンクール全国大会 バイオリン部門中学校の部・高校の部」(主

催：毎日新聞社)において選定委員が受賞者および推奨楽器を決定し、財団所有バイオリンを無償で3年間貸与する。

全日本学生音楽コンクール バイオリン部門 中学校の部 12月 6日(日)

同 高校の部 12月 7日(月)

会場：横浜みなとみらいホール 小ホール

### 3. 演奏家向け楽器貸与

ア. 貸与楽器および貸与者(継続)

平成30年貸与決定者への楽器貸与を継続。貸与期間は5年間。(令和4年度まで)

①ANTONIO STRADIVARI(1727年製作 バイオリン)ー米元 響子

②PAOLO ANTONIO TESTORE(1728年製作 ヴィオラ)ー田原 綾子

### 4. その他の助成

ア. 活動助成

(1) 音楽文献目録委員会 音楽文献目録出版に対して

(2) 日本作曲家協議会 日本人作曲家の楽譜出版に対して

イ. 運営助成

(1) 日本作曲家協議会

(2) 日本現代音楽協会

(3) 日本演奏連盟

### 公益目的事業5(出版事業)

#### 1. 50周年記念出版の制作

周年事業として10年毎に出版している「日本の作曲」の2010-2019年版を令和2年度に刊行するため制作業務を行なう。直近10年間の邦人作曲家の主要作品、作曲界の動向についてレビューする。

以 上